



ルー  
テル

# 藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2021年6月6日

No. 85

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。  
独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハネによる福音書 3章16節



礼拝献花より

## 御言葉に生きる

あなたの御言葉は、わたしのものとなり わたしの心は喜び躍りました。

エレミヤ書 15章16節b

ルーター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏  
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009  
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: [fujigaoka@jelc.or.jp](mailto:fujigaoka@jelc.or.jp)



## シリーズ説教

### 『聖なる×3』

牧師 佐藤和宏

ヨハネ3章1節～17節

改訂以前の日課は、ヨハネによる福音書3章1節から12節までとなっていました。それが改訂後は、それに17節までが加えられているのです。改訂前の1節から12節、改訂後に加えられた13節から17節とを、分けて考えたいと思います。

初めに改訂前の日課、1節～12節までですが、この部分はニコデモと主イエスの対話になっています。聖書によると、「ファリサイ派に属するニコデモ」が「ある夜、イエスのもとに来」たことよって、その対話は始まっています。ニコデモはファリサイ派に属していたと言いますから、福音書の多くの場面で主イエスと対立するユダヤ教指導者たちの一員であったことがわかります。そのニコデモは、「ある夜」、人の目を避けるようにイエスのもとを訪れたのでした。対立するイエスのもとを訪れるにあたってニコデモは、仲間たち

の目を避けたのでしよう。しかしそれでも、一度イエスに会って話したいと思ったのです。ニコデモは言っています。「わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。」するとイエスは、彼に答えて言われたのでした。「人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」ニコデモは「年をとった者が、どうして生まれることができましょう。もう一度、母親の胎内に入って生まれることができるといいますか。」主イエスとニコデモのやり取りは、どうもうまく噛み合っていないように思われます。神の事柄を人間の知識に収めようとするなら、どうしてもこのような不一致をもたらしてしまうのでしよう。「新たに生まれる」と主イエスが言われることを、ニコデモは人間が生まれることととらえ、理解できていないように思われます。

ニコデモは、今日の日課では終始イエスの言われる「新たに生まれる」ということがわからずにいました。その後、ニコデモはどうなったのでしようか。ヨハネによる福音書によると、その後ユダヤ人指導者たちの

面前でニコデモは、次のように言っています。「我々の律法によれば、まづ本人から事情を聞き、何をしたら確かめたいとでなければ、判決を下してはならないことになっているではないか。」つまり誰もが一方的に判決を下そうと考えている中で、本人に事情を聞くべきだと主張しているのです。あの夜、隠れるようにイエスを訪ねたニコデモでしたが、今や誰をも恐れることなく、イエスを擁護する主張を明らかにしているのです。さらにニコデモは、あのアリマタヤのヨセフと共に、十字架の死を遂げられたイエスを墓に納めた一人となったのです。彼は「新たに生まれる」というイエスの言葉がわからなかったのですが、確かに新たに生まれたのです。

続いて、改訂共通聖書日課において追加された13～17節に、目を向けてまいりましょう。

前半部分のニコデモとの対話の中で、主イエスは「霊」について語られました。そして、後半の加えられた部分では、神と御子イエスによる救いについて言及されているのです。皆さんもお分かりでしょう。三位一

体の日曜日、福音の日課では神、イエス、そして霊の働きについて触れられているのです。このように聖であり、聖と決してなり得ない人間を滅ぼす力であった神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛し、御子イエスは、すべてを救うために十字架の死を遂げられ、聖霊は私たちを新たに生まれさせるのです。こうして三位一体の日曜日に聞く福音が、具体的に示されているのです。

日々の生活の中で、聖とは無関係に生きている私たちがいます。しかし、神は私たちを礼拝の場に招き、主の御言葉と聖霊の交わりによって、私たちを「新たに生まれさせる」のです。たとえ私たちがニコデモと共に、その意味を十分に理解できないとしても、ニコデモが変えられたように、私たちをもそのまま新しく生かすのです。

「聖なる、聖なる、聖なる」。それはど父と子と聖霊の神は、私たちを愛することに一つとなられ、一体となつて私たちと共におられ、一つとなつて私たちを新たにし、生かすのです。これがキリスト教信仰における救いということなのです。(三位一体)

## 御言葉に生きる 9

### 神様と私

名〇〇代

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」

ヨハネによる福音書15章16節

その日は雨の日曜日でした。藤が丘駅から教会に向かうゆるやかな坂を歩きながら、フト疲れたなあ・・・!!と言ってしまいました。私も高齢者になったんだと思いながら、聖書に「疲れた人は私のところに来なさい。休ませてあげよう」とあったことを思い出しました。こんな事ぐらいいで、神様に頼るなんて・・・! 苦笑してしまいました。私は神様と出会っても何年になるかしら? 随分永く時間が経っています。幼くして両親を亡くしているので、頼る者も無くて、心細い人生だったと思います。そんな私に神様は、いつもそばに居て下さって、一緒に生きて下さっていたのです。どんな時も、淋しさや苦しさを感じる

事が無く、不思議に思いました。いつも温かな胸の中に居るような感じでした。

神様を知って以来、それは神様が私の事をしっかりと支えて下さっていたのだと確信致しました。

現在は、子どもたちも成長して、私が心煩わす事ありません。何事も無く平穏な毎日を過ごしています。

毎週の教会の礼拝に出席出来て、神様をより近くに感じ、神様を信じる皆さんと交わる事が出来て、私にとっては一番安らぎであり、幸せです。私も人生の終章を迎える年齢に

### 初めまして!

#### 自己紹介①

〇藤真〇

昨年4月に転入させて頂いた皆さまから早1年が過ぎました。皆さまに温かく迎え入れていただき、礼拝に与り、親しいお交わりをいただきますことを、心から感謝申し上げます。また佐藤先生から昨年春にはリモートで何度にもわたって丁寧なルーテル教会の大切にしているこ

なりました。

残りの時間はどの様に生きるのでしょうか? どんな時も神様が一緒に生きて下さって、私を守って下さっている事を信じています。感謝です。そんな事を思いながら、気が付いたら教会にたどり着いていました。入り口で佐藤先生が「おはようございます」と迎えて下さいました。

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」ヨハネによる福音書15章16節  
選んで下さったのは神様です。神様がすべて責任をお取り下さいませ。アーメン。

と、歴史や信仰の特徴などを教えていただきましたことは貴重な学びでした。自己紹介をとのことですが、昨年暮れに沖縄バプテスト連盟女性会からの依頼で書かせていただきました証しを紹介させて頂きたいと思えます。

「2020年は世界中が新型コロナウイルスによる疫病の危機に晒された一年でした。ここ日本においても社会の隅々にまでその影響が及び、弱い立場に置かれた方々が最も

深く傷つき、命と生活が脅かされる社会が広がっていることに心が打ちのめされます。このような状況は、武力を行使する戦争状態こそありませんが、決して平和であるとは言えません。正にその只中で、沖縄バプテスト連盟女性会が戦争の歴史を振り返り、平和を実現するキリスト者の使命について思いを共有するこの冊子を発行されることに、心からの敬意を表します。

2004年にABWU(アジアバプテスト女性大会)第10回大会が沖縄で開催されたとき、沖縄、連盟、同盟の3つのバプテスト女性会からなる全国実行委員会が組織され、私は日本バプテスト同盟全国女性会から委員の一人として派遣されました。3年間にわたる沖縄の実行委員の皆さんとのお交わりを通して、私は沖縄戦の歴史を学び、戦争で最も傷ついた沖縄だからこそ平和の原点として、キリストによる平和と和解を、アジアに、そして世界に訴えたという切なる祈りに心からの共感を覚えました。

この大会中、その後の私の人生を決定的に変えた出来事がありました

た。それは沖縄の伝道師でいらした仲地文子さんの朝拝です。沖縄戦の生存者である九十歳の仲地さんが、お話の最初にこう述べられたのです。「第二次世界大戦はこの島に大きな悲しみの爪痕を残しましたが、それにもまして皆さまの国々に多くの悲しみと苦難をお与えましたことを、心から深くお詫びいたします。」

の奥底まで届いたことでしよう。和解について語ることは簡単ですが、それを実行することは至難の業です。しかしキリストが架け橋になってくださるとき、真の和解が実現するということ、仲地さんの言葉を通して深く実感しました。

この経験が契機となって、神様の不思議な導きにより、その後私は日本YMCAの「ひろしまを考える旅」という中高生を対象とした平和教育プログラムの企画・運営に携わることとなります。広島もまた、戦争で深く傷ついた場所です。まだご存命

でいらした多くのヒバクシャの方々から被爆証言をお聞きすることが叶い、「人間とは何か」「戦争とは何か」という問いに向き合い続けてきました。そして東日本大震災がきっかけとなり、その後は東北の被災地に折あるごとに音楽家の皆さんによるコンサートをお届けし、放射能被害に苦しむ福島の子どもたちとお母さんたちに寄り添う支援に関わり、今日に至っています。(次号に続く)

## 教会の動向



● 報告事項  
西○光○さんのご家族が教会を訪ねて来られ、献金をいただきました。／8日に○山○さんの記念会を自宅にていたしました。／9月に予定されているルーテル学院大学・神学校の講演奉仕は、上村敏文先生に決まりました。

● 協議事項  
「緊急事態宣言」を受けて、感染対策を確認しつつ、礼拝を継続することとしました。また、2グループ

## 教会ツイートから

「まはわたしたちに道を示される。わたしたちはその道を歩もう。」イザヤ2章3節(部分)

私たちも同じように歩みたいものです。しかし私たちは、自分に都合の良い道を選んでしまうのです。

そのような私たちを深く憐れまれる主は、私たちの道となるために十字架の死を遂げられたのです。

今月は、5月定例役員会の議事のご報告とさせていただきます。

に分けているのは、それぞれの上限を30〜35人程度するためであり、個人の都合での変更はご遠慮いただくことを確認しました。会堂を利用している団体については、人数が少ないこと、感染対策に関する取り決めを遵守していること、団体の事務局が管理を徹底していることなどから、使用を引き続き許可することとしました。／会堂外壁補修の業者を決定しました。30日に予定されている拡大宣教委員会の内容について協議しました。役員のお働きのため、お祈りいただき、感謝します。(佐藤)

## 今月の受洗記念日の皆さん

2日 ○山○子姉  
3日 ○村○子姉、田○子姉、○田○照兄  
6日 田○夫兄、○本○子姉、武○子姉  
10日 ○内○生姉

おめでとうございます。



「あなたの御言葉は、わたしのものとなり  
わたしの心は喜び躍りました。」エレミヤ書15章10節b  
福音行教会ウェブサイト <https://www.jdc-fujigaoka.jp/>  
フェイスブックで日々のライブ中継をしています。(毎日17時前10分)